

# 「木になるフェスティバル」開催

## 企業支援部 普及連携グループ 奥山 卓也

林産試験場では、例年、木材や科学技術、研究への興味・理解を深めていただくため、施設を公開し、木を使った様々な科学体験や工作、場内見学などを行う「木になるフェスティバル」を開催しており、これまで多くの方々にご参加いただきました。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、林産試験場のウェブサイトではWeb版「木になるフェスティバル」を開催していましたが、今年度は7月22日（土）に、事前申込み制により、人数限定（午前・午後各40名、小学生以下限定）の上、リアル開催を実施しました。

催事は木工作「木製スマホスピーカーをつくろう」、木の化学体験「もくもこもこ～木をもこもこさせてみよう～」、端材を利用したジオラマづくり「旭川を木のまちにしよう」、釘や接着剤を使っていない橋を渡る「ダビンチ橋を渡ってみよう」のほか、共催先である北海道立北の森づくり専門学院提供の「コースターづくり」や一般社団法人北海道林産技術普及協会提供の「木のマグネットづくり」の計6催事を実施しました。

参加児童からは「木でたくさんの工作ができると知ってすごいと思った。」や、「スピーカーの仕組みがわかって良かった。」等、大変好評でした。

なお、今年度の「木になるフェスティバル」はリアル開催の他にも例年同様、林産試験場ホームページ上「木になるクイズ」を開催しています。

科学的な関心や興味を引き出せるような3択のクイズで、木材に関する知識を得られるように、問題は各研究グループや普及協会、北森カレッジから、全部で10問出題しています。

全問正解者の中から、抽選で200名様に素敵なプレゼントをお送りします。

クイズは何度でもやり直しができますので、全問正解できるまでトライしてみてください。

「木になるフェスティバル」で検索するとフェスティバルのページにアクセスできます。8月末まで公開していますので是非ご覧ください。



『ダビンチ橋を渡ってみよう』



『旭川を木のまちにしよう』



『もくもこもこ』



『木製スマホスピーカーをつくろう』